### 大感激 Ø

械化せずんばやまない物質文 **勞働も商品化し、人間も器** 

我の主張なく。 のお鬚の塵を拂ひ。 上長官の裏門より夜陰私か 意熱ない生活 小官吏は

に於て到底見られ得ない。 燥の打算的なる時代相を現 しい感激精神の發露は現代 極愛も算盤で彈く様な無味 生意氣に感じて等との美 の心には詩なく。

斯る折柄本郡政友派の元老 又鈴本辰三郎氏 難道に就さた 新人推學の

私をすてゝ公に殉ずる事は容 自己一身の利害を顧みず、

感激精神は氣高くも奪いもの 微笑して敢行した、美はし も前記三氏が此の難事を

感激の一刹那の痛感を体験せ ではない 一切の黨派的偏見を去り、 むるものである。 ው የ

## 相食む憲政 亦坂毅一君の擡頭

きで必勝を期して猛運動をな 不部を植田町元町に設置し元 麒麟兒金成通君を参謀さし、 縣議たる下 議士安島重三郎君及實業界の 休戦明けの選舉界は 山田喜七君が中樞 平派結局潰滅か |運動を開始したが、機を見 |田人を本據とし に兄弟相食むの悲劇を演出し 君が國民黨時代の舊地盤を賴 に敏な鷺君は愛黨の立場より 難く加ふるに大平君と隔執を み中立さして立候補をなし大 突撃し光鋒侮り 平隱な區域なり 先代龜太郎 憲の陣容を點撿するに僅かに からしむる感がある、飜りて 行動は、見るからに敵膽を寒

を撃げつ

愈々白熱化 子英吉君の苦吟 当派愁眉を

馬上德十郎、立花雄七君が陣 たる陣容をしき一絲亂れざる は事務所の設置を終た、堂々 される江名、豊間方面は参謀 太郎兩君首腦さし、難關ご目 小野君直接に釆配を振り、泉 **兩君を夏井、飯野、高久方面は** 郎、小濱長 崎與三郎、中野浩忠兩君の斡 烈なる運動を開始し第三區に 旋により十五日夜圓滿に江名 氏を擁立し中の作を中心に猛 於けるが如く三ツ巴となり壯 と共に暗雲一掃されたと。 一郎君等が門閥家吉田正雄

時代を現 給充分にせよ賣先絕無に陷り **憊したる折柄如何に貨車の配** らずさなきだに極端に疲弊困 たれ常磐各炭礦の恐慌一方な 度大震災のため中央金融経 對しては

顯

印刷所一型福島縣石城郡平

〇門田町三

橫

Ш

磐城日日新聞社郡平町字田町五番地

師園及び第二十師團(朝鮮)の 本年未歸休除隊となる第十九

各兵卒は時局の必要によりて 局の必要に應じて

の立に 迫り各部

氏の地盤切り崩しの運動を開 た たる浪江町に選擧事務所を置 なる 大る十三日公認決定渡部 日 始した。 したる事なく、平生福島市にかつて地方公共のために奉仕 幕は切り れ故郷たるに過ぎず。 つて落された。 ら釘本氏は 同

石田忠宗、谷平態次、猪狩元 郡豊太郎、木幡一、朝田司一 和 豊太郎、木幡一、朝田司一 | 貧乏ゆるぎもせず、極力全氏| の再選を冀ふてやまない。 は現縣議として常に郡民のた生活するに引きかへ、渡部氏 めに奉仕し來つた。 地は唯

さ先 課長連は東奔西走極力 鬼集に全力を盡しつゝ|は語つた。 さなく今は全く飢餓に 配力は充分ならんもさ | あるも殆んご不可能らしく今 觀測されつくありと某消息通 は解放の餘儀なきに至らんと

た。一方憲派に於ては 畑として全部の興望を負し 及にては渡部興網氏、公 とのでは、近の東の東の東の東京を は、一方憲派に於ては **並に目覺さしい 政戦の** 即、釘本衛雄兩氏を攊 は 向上さ進化を念させねばならば 向上さ進化を念させねばならば の上さ進化を念させねばならば いいの意味に対て渡部氏は かんの意味に対した。 四 政治は實際である。現實で 演するのみである。 演するのみである。 一 の左彈に過ぎず、言論戰の美 者は地方民衆の現實的生活のある。地方自治政に参加する

認公補

緑雨生

會の如きは、 畢竟虛

。定員二名の所、三名 **脎議戦は愈々戦機熟し** す

立して

山田六品 ふて起

死亡二十七人負傷者三百九人 東京府、島、郡を通じる殉職警 震災救護事務局發表によれば ら本所の遭難者最も多く死者 察官の死傷者及行衞不明者は 行衞不明者三百六人で其のう 不明七十六人である 十二人負傷者百七十三人行

池田社會局長官は今回の震災 のため本年に於ける勞働調査 あつたと **宛十六日電報を以つて通牒が** 手續き中なる旨本縣社會課長 一年間延期すべく目下その

### 専日の一家艦 日の新門

される方針だが十二月一日入 失したため廢棄艦朝日に移乘 横須賀海兵團新兵兵舎が燒 の新兵教育も明年三月下旬ま 闘する十二年徴募兵二千余名 實施する事に內定 築する方針であると云ふ

### 本內閣成立後地方長官會議 帝都復興策 般落後に?

# 鳥取地方.....

船を出し決死隊を組織して救 ので市役所からは數十雙の小 縣廳學校官衞にまで浸水した 一時には市の地方高臺にある 膽たる全滅の姿となり午前 鳥取地方は十五日早朝から大 代川の堤防欠潰したるため惨 般市民は高臺に逃げたるも る鳥取驛附近は泥海と化し 及んで忽ち氾濫し市の南部な する袋川の増水は一丈七尺に 暴風雨に襲はれ午前九時千 川増水二丈に及び同市を貫流

支米三十六銭五厘で販賣する 東京市にては十四日から白米 東京市の 0 値

事になった郡部各町村でも之 に做ふ事であらうと 升四十二錢字搗き米四十錢

急が 長官

補者に推薦極力再選を期す

般落を告げた上に於て長官會 議召集を見るに至るであるで て帝都復興に關する問題が の發あり別に急ぐ必要なく仍 の召集は最も必要とされたの であつたが大震災があつた為 ては内閣としては既に訓令 れ等の餘裕なく又災害に關

死傷者多數の見込

大暴風

石城郡第三區縣會議員候補者 薦

占

青年政治家として新人たる全君を推薦す、 冀 は くは聖

き一票を全君に‼

立憲政 友會石城政友俱樂部 同

フイ、コールタールヌリ、松、ペンキヌリ、シブヌリ、材木字形、 トタン、ブリキ細工物一式

薦 廣

利利

砂。

玉石採取販賣業

目

元言

台資會並

出張所

植田出張所

久ノ濱出張所 前 郡役所前

双葉郡政友會縣會議

渡 都 興 網

現縣會議員として地方公共の為め事蹟大なる全君を候 補者に推薦極力再選を期ま

立憲政友會相双政友俱樂部双葉支部

推 薦 廣 H

石城郡第四區縣會議員候補者

現縣會議員として地方公共の為め事蹟大なる全君を候 鈴木辰 郞

立憲政政會石城政友俱樂部 F

廣 告

第 Ш 開 有 志

金物 問屋

和洋

銅鐵

親切本位

**\*** 

最最 低高 水火も恐れぬ のの 光印を御使用 曲げて折れづ容易に

び

3 D

6

は

優製品縣下特約發賣元の個格は東洋第一 平五丁 Ħ

勤替東京 電話 園九天 一〇九五六番 番、一三九番

H

諸文和 帳房洋 簿具紙

.